

SUZUCHU NOW

VOL.85

2026

夏

- 発行日 2026年7月1日
- 発行 鈴鹿中央総合病院
- 編集 鈴鹿中央総合病院広報委員会
〒513-8630 鈴鹿市安塚町山之花1275-53
TEL 059-382-1311
URL http://www.miekosei.or.jp/2_sch/
- 編集協力 (株)TCKnagoya

【道】

…その先にあるもの
地域で支える 肺がん治療の現在

■Salon de news

- 手術支援ロボットの最新機種「DaVinci 5」を導入しました
- 緩和ケア病棟の対象者が広がります

■教えてQ&A

「尿漏れ」とはなんですか？

■院内【知っ得!辞典】

「認定看護師」のご紹介

■誌面でクッキング

夏野菜たっぷり冷ややっこ



SUZUCHU NOW

2026 夏

●発行日 2026年7月1日 ●発行 鈴鹿中央総合病院

●編集 鈴鹿中央総合病院広報委員会 〒513-8630 鈴鹿市安塚町山之花1275-53
TEL 059-382-1311 https://www.miekosei.or.jp/2_sch/ ●編集協力 TCK名古屋



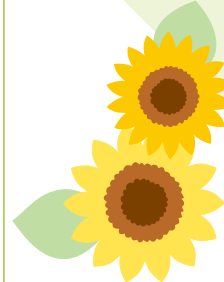
認知症看護認定看護師のご紹介

院内 知っ得! 辞典



看護師 村田 智香

認知症看護認定看護師は、認知症を抱える患者さま一人ひとりの「その人らしさ」を守り、安心かつ安全に治療をうけ療養生活を送れるように環境を整えサポートする役割があります。私が活動のなかで大切にしていることは、認知症の患者さまを「ひとりの大切な人」として尊重し、これまでの人生や価値観、気持ちを大事にすることです。そして、症状の背景にある患者さまの思いや声に耳を傾けることです。認知症による行動心理症状は、不安や不快、言葉にできない思いの現れであることが少なくありません。その「理由」を考え、ケアに繋げることが私たちの役割です。そして認知症ケアチームとして多職種で連携し、患



者さまの「できること」に目を向けたケアを実践することや、少しでも制限の少ない入院環境へと整えることを心がけています。日々の活動では、病棟を巡回して患者さまの状態を把握するとともに、ケアに悩むスタッフからの相談に対して、助言・指導を行っています。これらの活動を通して、患者さまや現場のスタッフの皆さんの気持ちに寄り添い、サポートさせていただきます。認知症ケアの「困った」や「どうしよう」があれば、いつでもお気軽にご相談ください。

～夏野菜たっぷり冷ややっこ～



管理栄養士 山口 陽愛 (やまぐちひより)

材料(2～3人分)

絹ごし豆腐	100g
オクラ	1本
トマト	1/4個
めかぶ	20g
豚バラ肉	30g
ポン酢	10g
ごま油	お好みで

〈栄養価〉

エネルギー	200kcal
たんぱく質	10.6g
塩分	0.7g

作り方

- ① オクラはヘタを切り落として、薄い小口切りにする。
- ② トマトはヘタをとり、1cm角程度の大きさに切る。
- ③ オクラ、トマト、めかぶを混ぜ合わせる。
- ④ 豚肉は食べやすい大きさに切り、色が変わるまで熱湯で茹でる。冷水に取り出して、水気を切る。
- ⑤ 皿に豆腐を盛り付け、上から③・④をのせる。最後にポン酢とお好みでごま油をかける。



●夏野菜をたくさん使い、旬の味覚を感じられる一品になっています

ご意見に Q&A 答え します!

Q 外来の待合や中待合で携帯電話を使用している方を見かけます。携帯電話の使用についてのマナーについて周知願います。

A 病院内では、携帯電話はマナーモードに設定願います。また、外来や病棟の待合、多床室、精密機器を使用している部屋では、使用はご遠慮ください。待合等でのインターネットメールは使用可能ですが、動画等、音が出るものにつきましては、ご配慮下さい。患者さま・利用者さまのご協力をお願いいたします。

「料理」

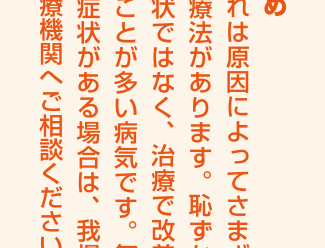
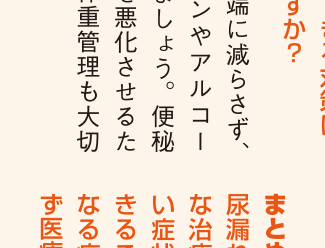
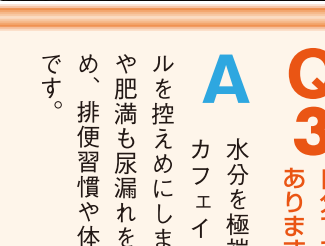
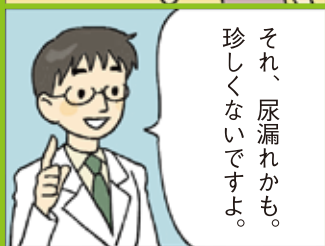
わたしのすすめ
私のすすめは、料理です。得意ジャンルは中華料理で、とくに麻婆豆腐や汁なし担々麺は専門店と張り合えるレベルだと自負しています。本場四川の味に近付けるために、横浜中華街から専用の調味料をいくつも取り寄せ、自分なりにレシピをアレンジしています。学生時代にはよく友人や後輩に振る舞ってきた。自分好みの料理を食べられるだけでなく、出来上がりのイメージ通りに完成していく過程にも楽しさがあります。



紹介 研修医 村田 圭



Coffee Break

SALON DE
鈴木ニュース
NEWS手術支援ロボットの最新機種
「Da Vinci 5」を導入しました

当院はINTUITIVE社製の最新手術支援ロボット「Da Vinci 5 サージカルシステム」を三重県内の病院で初めて導入致しました。今回導入した最新機種は、鮮明で視認性の高い3D画像術野を映し出すことができ、さらに従来視覚だけに頼っていたロボット手術に力覚が加わったことで、より繊細で安全な手術が可能となりました。

令和8年6月には、当該機器を使用した初の手術を実施しております。また、それに先立ち、令和8年6月2日（火）に鈴鹿市長をはじめとした、行政・市議会・医師会や地域自治会の皆さまをお招きし、内覧会を行いました。

当院は今後も最先端の医療技術とデジタルイノベーションを積極的に導入し、これまで以上に患者さま一人ひとりに最適な治療をお届けできるよう努めてまいります。

緩和ケア病棟の対象者が広がります

6月より、当院の緩和ケア病棟では、がんに加えて、重い腎臓の病気をお持ちの方も入院していただけるようになりました。病状により積極的な治療の継続が難しくなった際に、痛みや息苦しさなどの症状を緩和し、安心して過ごせる環境づくりを支援いたします。これまで以上に多くの患者さまとご家族や身近な方が、穏やかに過ごしていただけるよう、スタッフ一同心を込めてお手伝いさせていただきます。尚、緩和ケア病棟に関して質問やご不明な点などございましたら、当院の地域連携室（電話 059-384-1057）へご連絡ください。



道

……その先にあるもの

地域で支える 肺がん治療の現在

検診から高度治療まで、
地域でつなぐ呼吸器外科

肺がん治療は、近年大きく変化している。

薬物療法の進歩により、これまで手術が難しかった症例でも、治療の可能性が広がってきた。

鈴鹿中央総合病院呼吸器外科では、肺がんをはじめ、気胸や呼吸器感染症など幅広い診療に対応。4人の医師が連携しながら、地域の呼吸器医療を支えている。

患者ごとに異なる「最適解」

「以前なら手術が難しかった症例でも、薬物療法を組み合わせることで、治療を目指すケースが増えてきました」そう話すのは、呼吸器外科部

長の川野理医師。肺がん治療は高齢化とともに、より「患者ごとの治療」が求められる時代になっているという。

「大事なものは、その人にとって何が最適かを見極めることです」。同科では今後、ロボット支援手術（※）の導入も予定している。ただ、川野医師は「ロボットだからすべて優れている、というわけではありません」と冷静に語る。「人の手では難しい細かな動きができることや、技術の安定化には大きな意味があります。これまで『職人技』だった手術を、一定の質で提供しやすくなるのも大きな特徴です」。

また、早期発見については「まずは検診を受けてほしい」と呼びかける。「レントゲンだけでなく、CT検査を受けてもらうことで、より早期発見につながります」。

24時間365日対応の
気胸センター

同院では、気胸センターとして24時間365日体制で診療を行っている。原発性気胸、続発性気胸、外傷による気胸など幅広く対応し、地域で専門的な呼吸器外科診療を受けられる数少ない施設でもある。

「この地域では、呼吸器外科専門医が常時対応できる施設は限られています」そう語るのは中川啓輔医師。診断から治療まで地域で完結できることも、大きな役割の一つだ。

経験と次世代がつながる
呼吸器外科

今年4月から呼吸器外科に加わった日置啓介医師。

「もともと、がん診療に携わりたいという思いがありました」。

初期研修の頃、肺がん治療の進歩が大きく注目され始めた時期だったという。免疫療法など新たな治療が次々と登場し、肺がん診療が大きく変化していく現場に魅力を感じた。

「診断から手術、薬物療法まで幅広く関われるところに魅力を感じました」現在も、術前治療や再発症例について学びを深めている。

症状が出る前に、検診を

長年、地域の呼吸器医療に携わってきた深井一郎医師。これまで「ベストドクターズ」に2度選出されるなど、多くの患者から信頼を集めてき

た。現在は嘱託医として診療を続けながら、若い医師たちを支えている。

「私がいなくても、もう十分に診療が成り立つ体制になっています」。

そう穏やかに語る一方で、「まだ地域の役に立てることがあるなら」と、今も現場に立ち続けている。深井医師が繰り返し話していたのは、「検診の大切さ」だった。

「肺がんは、症状が出てからでは遅いこともあります。毎年きちんと検診を受けてほしいですね」。

長年地域医療に向き合ってきた医師の言葉には、地域への深い思いがにじんでいた。

取材撮影 TCK名古屋

こころ
解説室

※ ロボット支援手術とは？

医師が操作するロボットアームを用いて行う手術。人の手では難しい細かな動きを可能にし、手術の精度向上が期待されています。ただし、すべての疾患に適しているわけではなく、患者の状態に応じた選択が重要です。

教えてQ&A

〈泌尿器科〉

澤井 千夏先生

「尿漏れ」とはなんですか？

「自分の意思とは関係なく尿が漏れる」。こんな症状でお困りではありませんか。尿漏れは加齢だけでなくさまざまな原因で起こります。今回は「尿漏れ」についてご説明します。

Q1 尿漏れはなぜ起るのですか？

A 年齢だけが原因ではなく、出産、加齢、前立腺の病気、神経の病気、薬の影響などで起こります。

Q2 よくある尿漏れの種類は？

A 足咳・くしゃみ・運動で漏れる「腹圧性尿失禁」、急な尿意でトイレに間に合わない「切迫性尿失禁」、その両方がある「混合性尿失禁」が代表的です。男性では前立腺肥大症や前立腺手術後に関係することもあります。

Q3 自分でできる対策はありますか？

A 水分を極端に減らさず、カフェインやアルコールを控えるにしましょう。便秘や肥満も尿漏れを悪化させるため、排便習慣や体重管理も大切です。

Q4 骨盤底筋体操とは何ですか？

A 尿道や膀胱を支える筋肉を鍛える体操です。特に腹圧性尿失禁に有効です。肛門や尿道を締めるように数秒力を入れ、ゆっくり緩める運動を繰り返します。

Q5 いつ病院を受診すべきですか？

A 症状や原因に応じて、生活指導、体操、内服薬手術などを選びます。急に尿漏れが始まった、血尿がある、排尿しにくい、残尿感が強い、発熱や痛みを伴う場合は、早めに泌尿器科を受診してください。

まとめ

尿漏れは原因によってさまざまな治療法があります。恥ずかしい症状ではなく、治療で改善できることが多い病気です。気になる症状がある場合は、我慢せず医療機関へご相談ください。

SUZUCHU 外来診療担当表 ※裏面の外来のご案内もご覧ください

診療科目		月	火	水	木	金
一般内科	初診	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
循環器内科	初診	太田寛史	岡本紳也	渡邊清孝	山本彩人	北村哲也/喜多田昂祐
		喜多田昂祐		牧野 翠		伊神明良
	再診	北村哲也		北村哲也	瀧田正行	瀧田正行
		伊神明良(PM)			太田寛史	牧野 翠
ペースメーカー外来	予約制			第1水曜日 14:00～		第2金曜日 14:00～
re:body外来	予約制			北村哲也 11:00～		
高血圧専門外来	予約制				太田寛史 15:00～	
消化器内科	初診	向 克巳	松崎晋平(胆膵)	齊藤知規	岡野 宏(肝)	佐瀬友博
		舘賀聡美	竹中喬紀	磯野功明	野村達磨	熊澤広朗
	再診	野村達磨(AM)	佐瀬友博	向 克巳	齊藤知規	竹中喬紀
		樋口正太郎(AM)	向 克巳	西村 晃(肝)	磯野功明	松崎晋平(胆膵)
		岡野 宏(肝)	熊澤広朗		松崎晋平(胆膵)	岡野 宏(肝)
血液内科	初診	川上恵基	大学医	水谷 実	水谷 実	応相談
			川上恵基	鵜飼 健	川上恵基	
	再診		藪 晃大			
			林 奨敏			
腎臓内科	初診			田中祐也		小田豪将
	再診	田中祐也(PM)		早川温子		大橋智貴
内科(再診のみ)	再診	山本伸仁			山本伸仁	
リウマチ・膠原病内科	初再診	杉谷直大	大学医 / 芝原拓真		杉谷直大(予約制)	
	再診	鈴木綾乃				
糖尿病・内分泌内科	初再診(予約制)			森井将基		
腫瘍内科	再診					水野聡朗(腫)
眼科 (紹介のみ)	初再診 (紹介のみ)	米川由賀	湯浅 湖	初診休診	米川由賀	米川由賀
		畑 七海			畑 七海	畑 七海
		岡崎さより			岡崎さより	岡崎さより
	再診	湯浅 湖	有馬美香 畑 七海 米川由賀/岡崎さより	再診予約のみ	湯浅 湖	湯浅 湖
近視予防外来(午後)	予約制	湯浅 湖			湯浅 湖	
レーザー治療(午後)	予約制		レーザー治療	レーザー治療		レーザー治療
斜視・弱視外来(午後)	予約制		斜視・弱視	斜視・弱視		斜視・弱視
眼内注射	予約制	眼内注射		眼内注射	眼内注射	
硝子体注射	予約制	硝子体注射			硝子体注射	
小児科	初再診	大矢和伸 下野吉樹	大矢和伸 下野吉樹	大矢和伸 下野吉樹	下野吉樹	大矢和伸 下野吉樹
	発達・神経外来	予約制		第1,3,5塩野愛		
乳児検診	予約制			乳児検診(4カ月)		乳児検診(10カ月)
予防接種	予約制		予防接種			
小児リウマチ膠原病外来	予約制					第3 篠木敏彦
耳鼻咽喉科 (紹介のみ) 金曜日のみ 10:30迄	初診	藤田祐一(紹介のみ)	初診休診	大学医・乙田愛美 (紹介のみ)	大学医・乙田愛美 (紹介のみ)	藤田祐一(紹介のみ)
	再診	乙田愛美	担当医	藤田祐一	藤田祐一	乙田愛美
FNA検査(午後)	予約制				FNA検査	
呼吸器 センター	呼吸器内科	初診	藤本 源	浅山健太郎	辻 賢士	初診休診
		再診	中原博紀	岡野智仁	高木健裕	浅山健太郎
	呼吸器外科	初診	古田ちひろPM	川野理	川野 理	初診休診
		再診		日置啓介		深井一郎
心臓血管外科	初再診				榊原聡	伊藤久人(再診:最終週のみ)
外科	初再診	市川 健	小倉正臣	赤尾希美(第2-4)	瀧田賢司	金児博司
				畑中友秀(第1-3・5)	(午後再診:瀧田賢司)	
	再診	金児博司 長谷川文哉	赤尾希美	畑中/赤尾(隔週)	小倉正臣	長谷川文哉
乳腺外来	月・予約制	外科担当医		今井奈央		児玉竜哉
ストーマ外来	予約制(14:00～)			ストーマ外来		
形成外科	予約制				第1-2・5大学医(PM)	
整形外科 新患11時まで (紹介のみ)	初診(紹介のみ) 予約制	横山弘和	國分直樹・半田忠幹	山田浩之・半田忠幹	矢田祐基	藤井一剛
	再診	若林弘樹	若林弘樹	國分直樹	横山弘和	横山弘和
		矢田祐基	藤井一剛	稲田 均	若林弘樹	稲田 均
リウマチ	予約制	若林弘樹	若林弘樹	稲田 均	若林弘樹	稲田 均
脳神経外科	初再診	清水重利	担当医	清水重利	担当医	土屋拓郎(一般/脊髄)
		土屋拓郎	浅田玲緒尚	担当医		浅田玲緒尚
ボトックス治療	予約制					土屋拓郎
脳神経内科	初診	川名陽介	佐羽勇輝	牧 聡樹	川名陽介	牧 聡樹
	再診	稲塚朱音		大学医	大学医	稲塚耕一
物忘れ外来	予約制	第1/3/5物忘れ外来				佐羽勇輝
皮膚科	初診	山際秋沙	大学医	山際秋沙	大学医(10:30迄)	初診休診
	再診					山際秋沙
精神科	完全予約		川喜田昌彦		川喜田昌彦	
緩和ケア内科	完全予約					第1/3/5日井正信(PM)
産婦人科	初診	丹羽正幸	丹羽正幸	初診休診	丹羽正幸	矢納研二
	再診	矢納研二	矢納研二	丹羽正幸	(初再診・再診優先)	丹羽正幸
妊婦健診/助産師外来	予約制	妊婦健診/助産師外来	妊婦健診/助産師外来	妊婦健診/助産師外来	妊婦健診/助産師外来	妊婦健診/助産師外来
泌尿器科 新患のみ 11:00迄	初診	山井和真	澤井千夏	井上貴博	金井優博	大楠裕之
	再診	金井優博	大楠裕之	長谷川万里子	山井和真	山井和真
放射線治療科	完全予約	村田るみ・水野智貴	村田るみ	村田るみ・水野智貴	水野智貴	村田るみ・水野智貴
IVR科	完全予約				中塚豊貴(AM)	中塚豊貴
病理診断科	完全予約	馬場洋一郎/朝川可奈			馬場洋一郎/朝川可奈	

(2026年7月1日現在)

お願い

産婦人科からのお願い

◇手術・入院・分娩は現在休止中です

内科からのお願い

◇血液内科への新患紹介で金曜日にお急ぎのご紹介をいただきます折は、事前に血液内科医師水谷までご連絡ください

◇リウマチ膠原病内科(月・火)はご予約なしでも受診可能です。木曜日のみ予約制とさせていただきます

◇水曜日 糖尿病内分泌内科は予約制です。診察枠が限られていますので、必ず予約をお願いします。

◇木曜日re:body外来は紹介・予約制です

◇水曜日 高血圧専門外来は紹介・予約制です

小児科からのお願い

◇心疾患の紹介は月・火・水・金 大矢医師にお願いします

◇腎臓系疾患の紹介は下野医師にお願いします

◇発達神経外来・第1,3,5水曜(要予約)

◇予防接種・火曜午後(要予約) 小児リウマチ膠原病外来・第3金曜日午後

◇入院が必要な患者さまをご紹介いただきます折は、小児科外来に事前にご連絡ください

耳鼻咽喉科からのお願い

◇耳鼻科にご紹介の際は、【初診担当医】宛てをお願いします

◇紹介状をご持参いただけない初診患者さまは診察できません

◇初診患者のご紹介は、月・水・金曜日をお願いします(金曜日のみ受付時間が8:30～10:30迄となります)

脳神経外科からのお願い

◇ご紹介患者さまについてはご予約可能です。事前に診療情報提供書をFAXしていただき、ご予約をお取りください

泌尿器科からのお願い

◇ESWL(体外衝撃波結石破砕術)は現在行っておりません。ご了承ください

皮膚科からのお願い

◇ご紹介は月・火・水・木曜日をお願いします(木曜日のみ10:30まで) 手術目的のご紹介は月・水曜日をお願いします

二次健診にてご受診希望の場合は水曜日以外にご来院ください

◇小児眼科・斜視の患者さまのご紹介は月・火・木・金にお願いします

整形外科からのお願い

◇初診患者さまは必ず紹介状をご持参ください

呼吸器センターからのお願い

◇呼吸器センターのご予約方法

呼吸器センターは医療機関様、または(紹介状お持ちの)患者様からご予約いただけます

呼吸器センター直通TEL 059-384-1025 (平日 8:30～17:00)

◇金曜日は呼吸器内科専門医での初診診察が不可のため、火急の肺炎患者さまを金曜日にご紹介いただく折は、「一般内科」にご紹介ください。呼吸器内科専門医での診療体制が整いましたら、呼吸器センター(内科)でお受けいたします

健診センター「オリブ」

◇人間ドック 脳ドック 肺がんドック 月・火・水・木・金曜日(予約制) 健診センターにて受付いたします

TEL059-384-1017

ご近所のお医者さま

当院の登録医院を毎回4機関ずつ紹介しております。

※診療日について都合から休診または代診となる場合がありますので詳しくは各医療機関にお問い合わせください。

家田クリニック

往診可

院長 家田 幸一

https://website2.infomity.net/8390000121/

◆診療科

●内科●糖尿病●内分泌●膠原病●小児科

◆特色

循環器専門医として長年救命センター勤務をしてきた経験を生かした医療を行っています。CT・エコー等の機器も揃え一次救急としても活動しています。

●休診日

水曜・日曜・祝祭日

●診察時間

9:00～12:00 16:00～19:00 (土曜9:00～12:00 15:00～17:30)

●所在地

〒510-0235 鈴鹿市南江島町5―8

●電話

059-388-8778

fax

059-380-0361

つばい内科・内視鏡クリニック

院長 坪井 順哉

https://tsuboi-med.com/about

◆診療科

●一般内科●消化器内科

◆特色

経験豊富な内視鏡専門医による正確な内視鏡検査

苦痛の少ない内視鏡検査

日帰りで大腸ポリープ切除が可能

専門の医師による消化器内科診療

誰でも通える幅広い診療内容のかかりつけ医

●休診日

月曜日・日曜日・祝日

●診察時間

9:00～12:00 13:00～17:00

●所在地

〒514-0126 三重県津市大里睦合町445-1

●電話

059-253-7470

fax

059-253-7471

徳メンタルクリニック鈴鹿

院長 柴田 達徳

https://tokumental.com/

◆診療科

●精神科●心療内科

◆特色

私は心療内科や離島医療など様々な現場で、心と体、そして日々の暮らしまで全体をみる医療を大切にしてきました。悩みや背景は一人ひとり異なります。だからこそ丁寧に話を伺い、気持ちに寄り添うことを心がけています。地域の皆さんに安心していただけるクリニックを目指し、全力でサポートいたします。

●休診日

木曜日・日曜日・祝日

●診察時間

9:00～12:00 15:30～18:30 (土曜日14:00～17:00)

●所在地

〒513-0809 三重県鈴鹿市西条7丁目23

●電話

059-381-0808

fax

059-381-0800

山口眼科

院長 山口 元子

◆診療科

●眼科

◆特色

女性医師が診察

●休診日

木曜日・土曜日・日・祝日

●診察時間

8:30～12:00

●所在地

〒510-0235 鈴鹿市南江島町4―15

●電話

059-386-1611

fax

059-386-8840

あなたからの声を、心からお待ちしています

募集！ 看護補助員(病棟・外来補助業務)パート

お問い合わせ先 看護補助員看護部 059-382-1311

地域連携NOW!!



INFORMATION

鈴鹿中央総合病院

研修会を行います。

本研修会は地域の医療従事者を対象に新しい医療のあり方や見識を高めるため毎月定期的に勉強会を行い地域医療技術向上を目的としています。

お問合せ先 地域連携室 TEL059-384-1057(直通)

学術講演会

日時 令和8年7月16日(木曜日) ●18:30~19:30

●鈴鹿中央総合病院／2階講義室
(Session1 15min)

座長:玉田内科循環器内科 院長 玉田 浩也先生

演題 「チーム医療で挑む心不全パンデミックーリアルデータからみた在宅復帰率70%の壁ー」

演者:鈴鹿中央総合病院 リハビリテーション科
技師長／辻 聡浩

(Session2 45min)

座長:鈴鹿中央総合病院 院長補佐 太田 寛史

演題 「慢性心不全を見逃さない、悪化させないー早期診断・早期治療・地域連携の重要性ー」

演者:三重大学大学院医学系研究科 循環器・腎臓内科学
教授／土肥 薫先生

URL

https://qr.paps.jp/FywQh



日時 令和8年8月20日(木曜日) ●18:15~19:30

●鈴鹿中央総合病院／2階講義室

座長 鈴鹿中央総合病院 院長補佐 太田 寛史

(一般演題 18:15~18:30)

(特別講演 18:30~19:30)

演題 「三重県における救急・集中治療の到達点と現実解:新体制発足後3年の総括」

演者:三重大学大学院医学系研究科 救急集中治療医学
教授／鈴木 圭先生

肺がん検診のための胸部単純X線症例検討会

●鈴鹿中央総合病院／北館2階講義室1

(※R8.2~症例検討会の前に15分のミニレクチャーを行っております。)

「ミニレクチャー」●19:30~「持ち寄り症例相談」●19:45~

日時 令和8年7月14日(火曜日)

ミニレクチャー 『喘息』

演者:呼吸器内科／浅山

日時 令和8年9月8日(火曜日)

ミニレクチャー 『慢性咳嗽』

演者:呼吸器内科／中原

RCC

●午前7:30~8:00

RCC Resident Case Conference

●鈴鹿中央総合病院／北館2階講義室1

演題 「臨床研修医の経験症例発表」

令和8年
7月8日
(水曜日)

令和8年
7月22日
(水曜日)

令和8年
8月5日
(水曜日)

令和8年
8月19日
(水曜日)

令和8年
8月26日
(水曜日)

令和8年
9月2日
(水曜日)

令和8年
9月16日
(水曜日)

令和8年
9月30日
(水曜日)

BCT

●午前7:30~8:00

※事情により予定変更する場合があります BCT Basic Clinical Teaching

●鈴鹿中央総合病院／北館2階講義室1

日時 令和8年7月1日(水曜日)

演題 『急性腹症』

演者:外科／畑中友秀

日時 令和8年7月15日(水曜日)

演題 『肝機能障害(肝障害)について』

演者:消化器内科／岡野宏

日時 令和8年7月29日(水曜日)

演題 『耳鼻科緊急疾患』

演者:耳鼻咽喉科／藤田祐一

日時 令和8年8月12日(水曜日)

演題 『急性腎不全(AKI)の診断と治療』

演者:腎臓内科／田中紘也

日時 令和8年9月9日(水曜日)

演題 『気胸と胸部外傷』

演者:呼吸器外科／川野理

SUZUCHU

—HOT LINE— 医療DXで支える安心・安全の地域医療

近年、医療分野では「医療DX(デジタルトランスフォーメーション)」が全国的に推進されています。医療DXとは、AIやデジタル技術、データを活用して医療の質向上や業務効率化を図り、患者さまにより安全で安心な医療を提供する取り組みです。

当院では、医療DX推進の中心的な取り組みとして、生成AIを活用した医療支援システム「Ubie(ユビー)」と、病床管理システム「MEDI-SINUS(メディサイナス)」を導入しています。

■ Ubie(ユビー)

Ubieは、生成AI技術を活用して医療スタッフの診療や業務を支援するシステムです。医療ガイドラインや院内マニュアルなど必要な情報へ迅速にアクセスできる環境を整えることで、日常診療や業務の効率化を図っています。また、情報検索にかかる時間の短縮や知識の共有を支援することで、医療従事者の負担軽減と診療の質向上につながっています。医療スタッフが必要な情報を迅速かつ正確に活用できることで、より適切な診療や分かりやすい説明を実現し、患者さまに安心して医療を受けていただける環境づくりに役立っています。

■ MEDI-SINUS(メディサイナス)

MEDI-SINUSは、病床の利用状況をリアルタイムで把握し、病院全体で情報共有を行う病床管理システムです。入院予定患者さまの受け入れ状況や病床の稼働状況を可視化することで、迅速かつ適切な入院調整を支援します。また、病床稼働率の把握やベッドコントロールの効率化にも活用されており、病床運用の最適化を図ることで、限られた医療資源を有効活用し、より円滑で効率的な医療提供体制の構築につなげています。

また、これらの取り組みを支える仕組みとして、次のような医療DXも推進しています。

■ PFM(Patient Flow Management)の推進

外来から入院、退院支援までを一体的に管理し、多職種が連携して患者さまを支える体制を整えています。切れ目のない医療提供により、安心して治療を受けていただける環境づくりを進めています。

■ タブレット端末・説明動画の活用

外来や病棟ではタブレット端末を用いた入院説明や検査案内を行っています。説明動画などのデジタルコンテンツを活用することで、患者さまやご家族に分かりやすく情報をお伝えし、安心して治療に臨んでいただけるよう努めています。



当院では今後もAIやデジタル技術を積極的に活用しながら、医療の質と安全性の向上を図り、地域の皆さまに信頼される医療の提供に努めてまいります。

外来のご案内

◆診療受付時間／午前8:30~11:30まで

●診療科により診療日、診療時間が異なる場合があります。

●再来受付機のご利用は午前8:00から

◆休診日

●都合により、事前連絡なく代診・休診になる場合があります。ご了承ください。

●土曜日・日曜日・祝日・年末年始(12月30日~1月3日)

●緊急の場合は休診日や診療時間帯に関わらずお問い合わせください。

☎ 059-382-1311(代)

◆診療申込み

初診の方および、受診する科が初めての方は診療申込用紙に必要事項をご記入の上、必ずマイナ保険証または資格確認書とあわせて新患受付にお出ください。

◆患者さまへのご案内

●診察券はご来院の際、必ずお持ちください。各科共通で永久使用しています。

●毎月1回、マイナ保険証または資格確認書の確認を行っています。3ヶ月以上、確認が取れない場合は再来受付機での受付ができません。

せん。マイナ保険証または資格確認書に変更がある場合は必ず受付までお申し出ください。

●受診の際、お車でお越しの方は駐車サービス券を会計で受領し、事前精算を行ってください。

●外来担当者が都合により代診や休診になる場合があります。ご了承の程よろしくお願い申し上げます。

◆紹介状をお持ちの方

●紹介患者さま専用受付を設置いたしております。紹介状をお持ちの場合は紹介受付へお越しください。係の者をご案内させていただきます。

◆保険外併用療養費(選定療養費)について

●初診で紹介状をお持ちでない場合は、選定療養費として7,700円(税込)をいただきます。紹介状をお持ちいただければ7,700円(税込)は不要となります。

●再診の患者さままで下記に該当されます折は選定療養費として3,300円(税込)をいただきます。

①かかりつけ医への紹介を受けたが、紹介状なしに再受診された場合

②病状が安定した後も当院での通院を希望される場合(事前に担当医よりかかりつけ医への紹介を提案させていただきます)

◆セカンドオピニオン外来のご案内

●当院ではセカンドオピニオン外来を行っております。★完全予約制★ ご予約、お問い合わせは、地域連携室にて承っております。

予約・問い合わせ受付時間

月~金 9:00~16:00(年末年始・土・日・祝日除く)

☎ 059-384-1057

※ご予約は医療機関からの申込のみとなります。

病院の理念

良質で高度な医療を提供することにより地域の皆様に信頼され選ばれる病院でありたい。

病院の目標

- 1.患者さまの尊厳重視と公正な医療の提供
- 2.最新で高度な医療の提供
- 3.医師の説明と患者さまの選択に基づく医療の提供
- 4.情報の開示とセカンドオピニオンの推進
- 5.地域医療ネットワークの推進